

「学校における業務改善」

「曾於市立末吉小学校」の実践紹介

効果が期待される取組

教材研究や校務等の時間を確保するための放課後の週行事の精選と運営の工夫及び低学年における校時の見直し

実施前の課題

- 1 放課後の教材研究や校務等の時間を確保するために、画一的に行われている週行事の精選と運営の工夫を図る必要がある。
- 2 専科の授業が組まれていない低学年においては、教材研究や校務等の時間を確保するために、可能な範囲で授業時数の削減も検討する必要がある。



実施後の成果

- 1 放課後の週行事の精選と運営の工夫により放課後の時間を生み出すことができた。また、放課後の慌ただしさを軽減することができ、心理面の負担軽減にもつながった。
- 2 低学年において、校時の見直しにより、放課後の時間を新たに生み出すことができた。また、児童や職員の負担軽減にもつながった。

業務改善を目指した取組の詳細

1 各種委員会を主とした放課後の週行事の精選及び運営の工夫

- (1) 月1回の企画委員会を廃止し、校長、教頭、教務主任で事前に提案資料を点検する方法に変更したことにより、年間12回の会議の削減を図ることができた。
- (2) 生徒指導対策委員会と給食・食育委員会を並行して開催し、それぞれの会議への出席者を学年内で分担することにより、一人当たりの放課後の会議への出席回数を減らしている。
- (3) 少人数で対応可能な職員作業については、各種委員会の裏で時間設定をし、委員会への参加者以外の職員で行うことにより、放課後の週行事回数を減らしている。
- (4) 各種委員会の時間は、校時表では16:10～16:45に位置付けてあるが、当日の会議の内容を考慮した上で、開始時刻を16:15又は16:20に繰り下げて設定し、会議の時間の短縮化を図っている。

(各種委員会)

- ①就学指導委員会
- ②校内支援委員会
- ③学校保健委員会
- ④給食・食育委員会
- ⑤生徒指導対策委員会
- ⑥教材選定委員会
- ⑦校内労働安全衛生推進委員会
(業務改善検討委員会)
- ⑧研究推進・学力向上委員会
- *企画委員会(今年度廃止)

2 低学年における校時の見直しによる週の授業時数の削減

- (1) 年間総授業時数を確保した上で、次のとおり校時の見直しを図ることにより、週の授業時数を削減し、教材研究や校務等の時間に充てるようにした。
 - ア 1年生については、月曜日を5時間授業から4時間授業に変更した(1時間減)。
 - イ 2年生については、木曜日を6時間授業から5時間授業に変更した(1時間減)。

今後の課題、計画

- 電子黒板やプリンター等のICT機器の整備により、授業や校務の効率化が図られてきている。今後、ハード面の整備を計画的に進めるとともに、既に整備されているグループウェアやサーバー(共有フォルダ)の効果的活用を促進し、授業や校務の一層の充実及び効率化を図っていくようにする。